



# 住北通信

第9号 発行日 R元. 7. 9

発行者 校長 松下 佳司

大東市立住道北小学校

TEL 872-7788 FAX 872-7789

## 目標達成に向けて水泳学習

住北小の水泳指導は、水なれ、息つき、浮く、泳ぐという授業の流れのなかで、学年の特性に応じた学習内容を計画し、到達度目標を**20のステップ(級)**に分けて段階的に指導しています。


また、指導者の説明をしっかりと聴き、プールサイドを走らない、とび込まない、押さない、沈めないなど基本的な安全指導は徹底して行っています。特に水泳を苦手としている児童に対しては、泳げるようになるまでの**スモールステップ**を大切に、小さな伸びを大きく喜び、励ましています。

水泳の学習指導では、「技能向上型モデル」として授業を設計し、指導を展開することが大切であると考えております。以下に示す、水泳技能の系統性を踏まえ、「できるようにする」ことが、水泳学習の大きな課題であり、それなくして、運動の楽しさは味わえず、安全能力も身につけることは難しいと考えております。そのための手立てとして、私たち教員自身が指導スキルの向上をめざし、6月28日(金)に**体育科実技研修会**を校内で開き、一致した水泳指導のあり方について学び合いました。

指導体制としては、今年度も低(1・2年生)・中(3・4年生)・高(5・6年生)の2学年合同で学習する日も設けており、課題に応じた学習の場の工夫や学年を越えた学び合いなど、集団による学び方の指導も意図的に行っております。また、2学期にも水泳学習を行いますので、「あゆみ」への評価は、2学期に行います。

各学年の到達度目標は裏面にある表のとおりですが、1学期末の時点で目標に到達できなかった児童を対象に**7月22日(月)・23日(火)・24日(水)・26日(金)**の4日間、**夏休み水泳教室**を実施いたします。全教員で体制を組んで個々の実態に応じた指導を4日間継続して行いますので、積極的に参加させていただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 水泳技能の系統

|         | 1・2(低学年)<br>水遊び  | 3・4(中学年)<br>浮く・泳ぐ運動  | 5・6(高学年)<br>水泳  |
|---------|--|--|---|
| ねらい     | <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上での遊びをそのまま水中に持ち込む</li> <li>足が水底についている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>水に浮いたり、自力で進んだりする</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸しながら、自力で進む</li> </ul>  |
| 中核の課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>心身のリラクゼーション(水の冷間、圧力、抵抗、浮力に慣れる)</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本姿勢：頭を起こさないこと(足が水底から離れる)</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本姿勢を崩さず、足・手・呼吸の動作を身につける</li> </ul>  |
| 活動内容    | <ul style="list-style-type: none"> <li>歩く・走る</li> <li>水かけ・伏せ面</li> <li>しずみっこ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>浮き方・立ち方</li> <li>けのび</li> <li>ばた足泳ぎ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>クロール</li> <li>平泳ぎ</li> </ul>  |
| 運動のポイント | <ul style="list-style-type: none"> <li>おそろおそろ</li> <li>→リラックスしてできる</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>顔を浸ければ浮くことの体得</li> <li>進むための手足の動きの体得</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>かえる足：土踏まずで蹴る</li> <li>クロール：腹の下を腿までかく</li> </ul>  |

### 水泳学習風景



ペアで学び合い



トリオで学び合い



| 学年 | 級  | 到達度目標                   |
|----|----|-------------------------|
| 1年 | 13 | けのびで5m以上進むことができる。       |
| 2年 | 10 | 息つきをしてバタ足で10m泳ぐことができる。  |
| 3年 | 8  | 息つきをしてクロールで15m泳ぐことができる。 |
| 4年 | 7  | クロールで25m泳ぐことができる。       |
| 5年 | 4  | 平泳ぎで10m泳ぐことができる。        |
| 6年 | 2  | クロールか平泳ぎで50m泳ぐことができる。   |

## 児童集会講話

7月1日(月)の児童集会では、来年、日本で開催される東京オリンピック・パラリンピックについてふれ、とりわけ、障害のあるアスリートが出場するパラリンピックがますます盛り上がりますますよいと願いを伝えました。

昨年、パラリンピックの正式競技の一つである「ボッチャ」を体験していた6年生は、その競技が、障害のある、なし関係なく、誰もが楽しめる、奥の深いスポーツであったことを思い起こす中、あるパラリンピック選手の言葉を紹介しました。

「僕は、自分を障がい者だとは思っていない。例えば、高齢者で体が動かなくなる。視力が落ちる。皆、それを障がいではなく、老いるという自分の一部だと考える。それに似ている。皆、何らかの障がいを抱えているといってもいい。大きな違いはないと思います。」

この選手のメッセージから本当の障がいというものは「自分にはできない」と諦めてしまう心の壁、自分を小さな枠にはめてしまう後ろ向きな考え方をさすのではないのかなと思いました。

以前、新聞に次のような五行歌(ごぎょうか)が書かれてありました。

百メートル  
九秒台  
一歩  
三十分  
どちらが凄  
い

(五行歌とは、短歌のように57577音の制約がなく、題名をつけずに五行で自由に書く歌をさします)

男子100メートルの世界記録保持者であるジャマイカ出身のウサイン・ボルト選手は、100メートルを9秒58で走ります。これはとてつもない記録です。本当に凄いです。

一方、高齢になり、大きな病気を患い、しかも、骨折までして歩くことが困難になってしまった知り合いがいるのですが、杖をつきながらも最寄りの駅から私の家まで歩いて来てくれました。突然の訪問でした。私が、歩いて約16分のところを1時間もかけてきてくれました。人の支えがないと歩けなかったのに、自分の力で1時間、これも凄いいと思いますか。

「外には出たくない」という心の壁をつくらず、前に前にと再び歩き始めた姿は、アスリートに負けない心の強さがあると思いました。

子どもたちには、「こうした違いに気づき、その違いを認め合う素敵さをこれからも学び続けていきましょう」と呼びかけました。子どもたちから、「はい」という素直な返事が返ってきました。

### 大東市教育委員会からのお知らせ

## 介助員募集!!

大東市教育委員会では、介助員を募集しています!

大東市の公立小学校・中学校の支援学級に在籍する児童生徒に対して、学校生活における生活介助等を業務内容とします。資格等は問いません。

小学校や中学校での勤務ですので、児童生徒と同じく夏休み・冬休み等の長期休業もあります。

ご興味のある方、下記までご連絡ください。給与面や服務形態を含めてお伝えさせていただきます。

【問い合わせ先：大東市教育委員会 教育政策室 072-870-9643】

子どもたちと接することが  
大好きな方、お電話お待ち  
しております!

まずは登録を!